

名城公園(北園) 管理運営方針

パークマネジメントプラン

◆公園の特性を生かした公園経営の推進◆

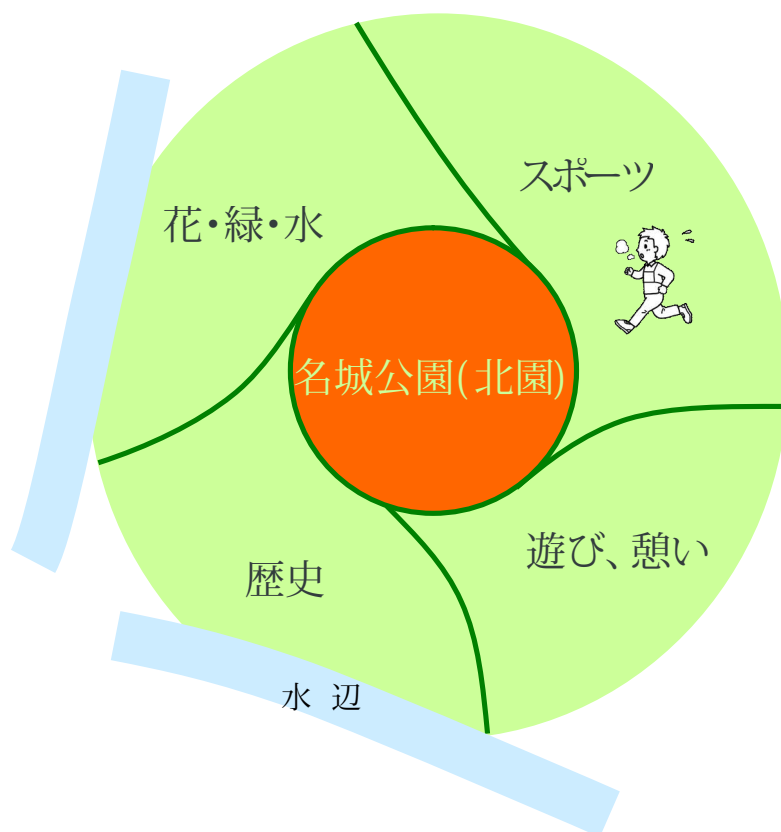
平成 27 年 11 月

名城公園（北園）のめざす公園像

地域の安全・安心と安らぎをはぐくむ

名古屋の中心公園

- ・市の中心部に位置しながら、四季折々の花や豊かな緑に包まれた公園。
- ・名古屋城という名古屋の歴史的拠点を支える品格のある景観。
- ・人々の遊び、憩い、スポーツなど様々な利用形態を受容する公園。
- ・災害から周辺住民の命を守る、安全・安心な公園。



目次

パークマネジメントプラン 基本事項	1
1. 公園の概要	
1-1. 名城公園（北園）の概要	2
(1) 概要	2
(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等	4
1-2. 沿革	9
1-3. 立地環境	10
(1) 自然状況	10
(2) 周辺状況	10
1-4. 整備時の方針および内容	13
(1) 整備当初の基本方針	13
1-5. 施設状況	14
(1) 施設概要	14
(2) 利用時間および料金	20
(3) 景観	21
1-6. 利用状況	22
(1) 利用実績	22
(2) 主な行事	23
(3) 利用者の意見	24
(4) 利用・運営上の課題	25
(5) 協働	26
1-7. 公園の基本的な性格・役割	27
(1) 特長の分析	27
(2) 公園経営の視点から見た現況評価	28
2. めざすべき姿と取り組みの方針	
2-1. 公園がめざすべき姿	29
(1) めざす公園像	29
(2) 名城公園（北園）のイメージ	29
2-2. 取り組みの方針	29
(1) 公園経営の目標設定	29
(2) ゾーン別特性	31
(3) 維持管理の方針	32
(4) 景観形成の方針	32
(5) 運営管理の方針	33
(6) 連携・協働の方針	33
(7) 改修・再整備の方針	33
(8) 災害対応の方針	33

パークマネジメントプラン 基本事項

公園管理運営方針（パークマネジメントプラン）は、平成 24 年 6 月に公表された「公園経営基本方針」及び、平成 25 年 7 月に公表された「公園経営事業展開プラン」に基づき、今後 10 年程度を計画期間として公園の管理運営の方針等を定めるものです。

この方針では、名城公園（北園）の性格、役割、立地条件や公園としてのあゆみ、利用者の動向などを踏まえて、めざす公園像を設定し、その実現にあたっての取り組みの方針を定めました。

管理者、利用者、事業者等は、このプランで示す各方針に即して、本公園における管理運営や利活用の促進を、それぞれの立場で行っていくものとします。

なお、本方針については、マネジメントサイクルで行う評価の結果や、周辺の都市基盤整備状況、技術動向、財政見通しなど社会経済情勢の変化等により対応が必要となった場合には、適宜見直しを行っていくものとします。

名古屋市の公園経営」とは…

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など公園の利活用の発想により公園の経営資源を最大限に活用して、新たな管理運営の考え方を導く。

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。

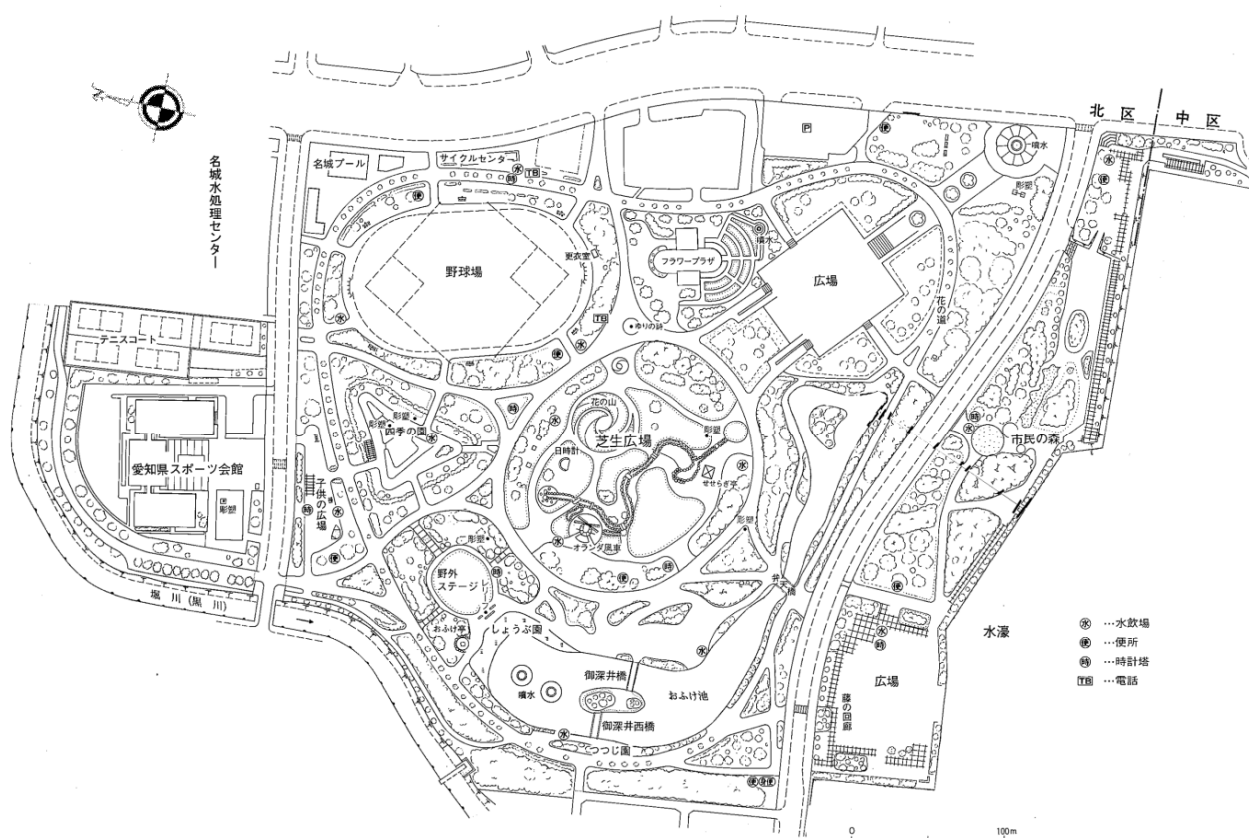


1. 公園の概要

1-1. 名城公園（北園）の概要

(1) 概要（名城公園全体）

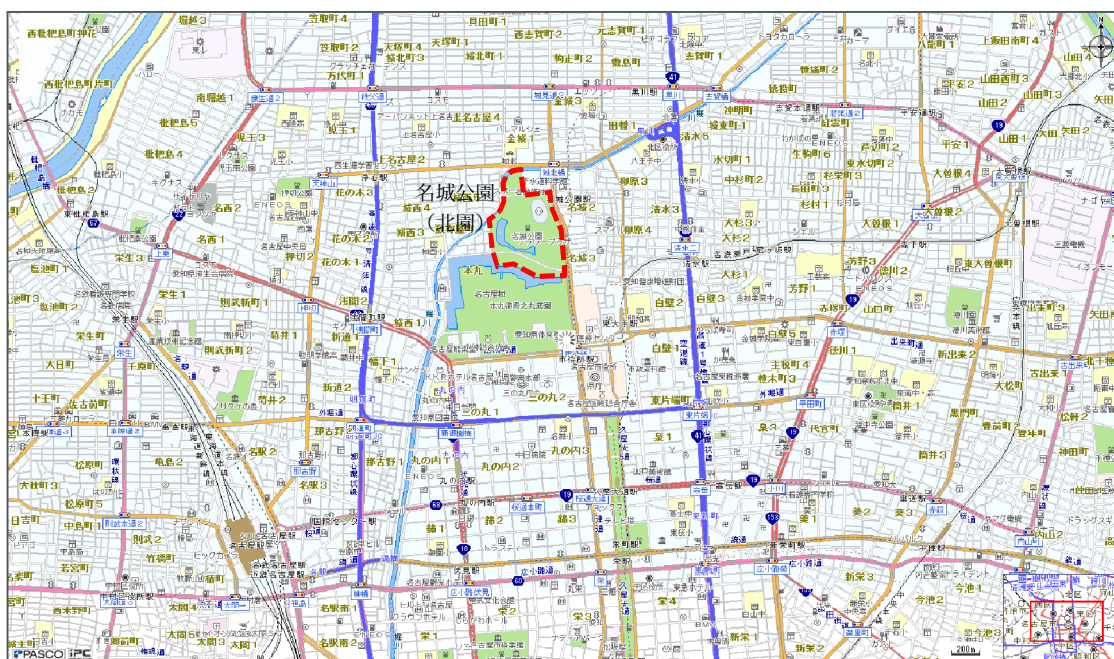
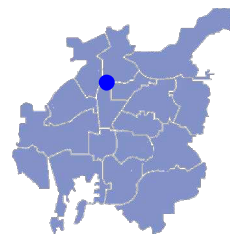
開園年度	昭和 6 年
都市公園法による設置	昭和 31 年 10 月 15 日
公園面積	80.41ha（うち北園 21.79ha）
所在地	名古屋市北区名城一丁目地内（フラワープラザ）
公園種別	総合公園
都市計画決定	年度 昭和 22 年 5 月 6 日 番号 5・6・3 号（総合公園） 面積 85.5ha



名城公園（北園）平面

【位置】

北区、西区及び中区の区界付近に位置している。名城公園とは、名古屋城を中心とした郭内にいくつかある公園の総称であるが、一般には旧北練兵場跡の北園をさしている。



位置図

【交通】

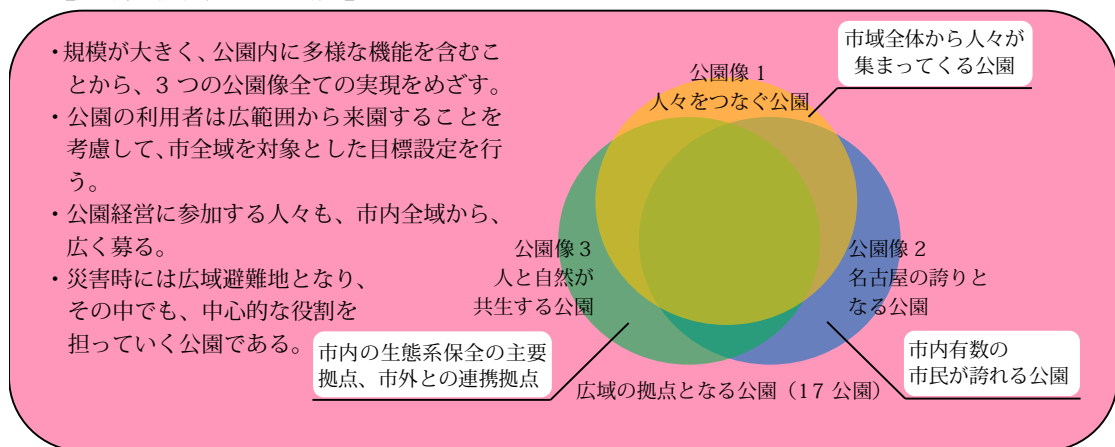
地下鉄名城線 「名城公園」駅 2 番出口 徒歩 1 分

(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等

■広域の拠点となる公園

事業展開プランの中で、公園の面積規模や公園利用者の広がり considering 3つに分類された公園体系のうち、「広域の拠点となる公園」として位置づけられている。「広域の拠点となる公園」（市内 17 公園）とは、規模が大きく、広範囲（市内及び市外）の利用者が見込まれる総合公園、運動公園、特殊公園を指している。

【広域の拠点となる公園】



※名古屋市公園経営事業展開プラン（H25.7）

【広域防災拠点】

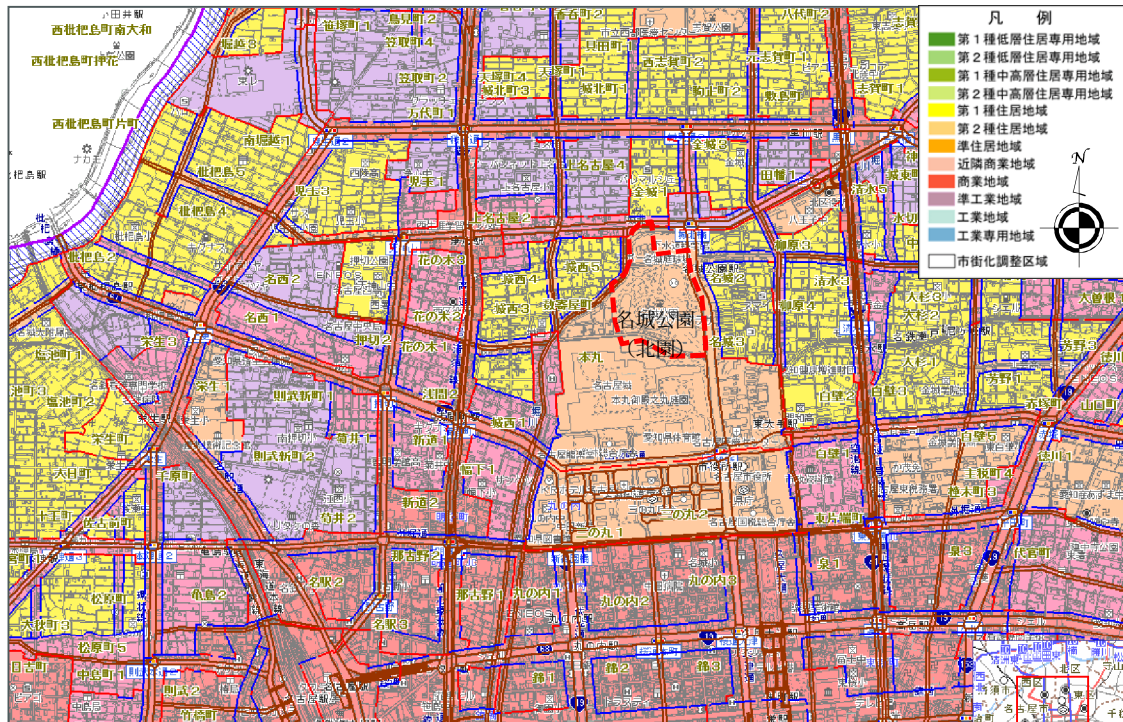
【広域避難場所】

[illegible]

PAGE 5

■用途地域

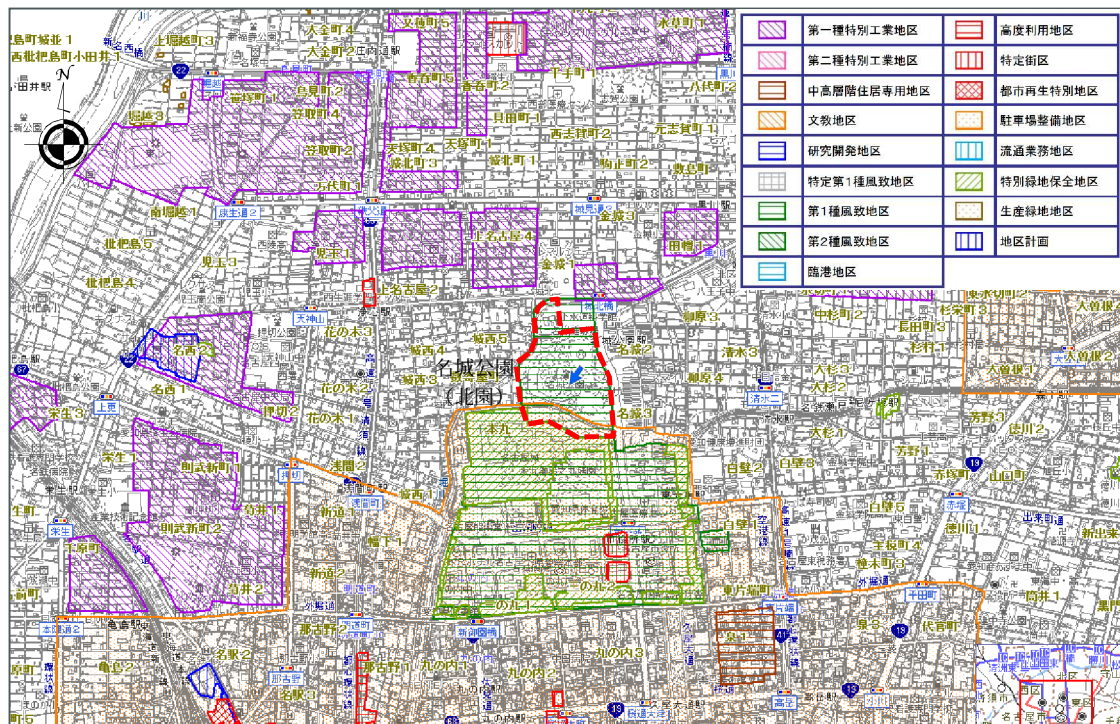
公園は第2種住居地域、周辺は第1種住居地域、近隣商業地域または準工業地域となっている。



用途地域図

■第一種風致地区

名城公園は、都市緑地法に基づいて、都市計画で第一種風致地区に指定されている。風致地区とは、都市の風致を維持するために指定する地区である。良好な自然環境の保全を図り、みどり豊かな都市環境を形成することを目的とする。



地域地区 地区計画図

1-2.沿革

江戸時代	湿原であったため、外敵に対する障害として利用 御深井御庭として整備、利用
明治 22 年（1889 年）	陸軍省北棟兵場を設置
昭和 5 年（1930 年）	元名古屋離宮が宮内省から名古屋市へ下賜される
昭和 6 年（1931 年）2 月	名古屋城管理事務所を開設、名城公園として開園
昭和 22 年（1947 年）5 月	大蔵省（現在の財務省）より国有地の無償貸与を前提に 北園を含んだ範囲で都市計画公園・第 13 号名城公園と して都市計画決定される
昭和 24 年（1949 年）	北園の敷地造成工事を失業対策事業等によって着手
昭和 30 年（1955 年）10 月	第 1 回名古屋まつり開催
昭和 31 年（1956 年）	現在の一般社団法人 日本公園緑地協会の前身である公 園緑地協会が北園の基本設計図を作成
昭和 33 年（1958 年）	おふけ池の工事開始
昭和 34 年（1959 年）	運動広場（現在の野球場）完成
昭和 39 年（1964 年）7 月	名城プール完成
昭和 46 年（1971 年）12 月	市営地下鉄名城線 市役所～大曽根間開設に伴い、北園 東側大津通り脇に名城公園駅設置
昭和 47 年（1972 年）3 月	愛知県スポーツ会館完成
昭和 50 年（1975 年）3 月	野外ステージ完成
昭和 52 年（1977 年）11 月	花の道完成、名城自転車天国がオープン
昭和 53 年（1978 年）8 月	野球場に夜間照明を設置
昭和 55 年（1980 年）3 月	子供の広場完成
昭和 56 年（1981 年）5 月	せせらぎ完成
昭和 63 年（1988 年）	名城公園を主会場に第 6 回全国都市緑化なごやフェア （緑花祭なごや'88）が開催され、記念施設として「名城 公園フラワープラザ」を建設

1-3.立地環境

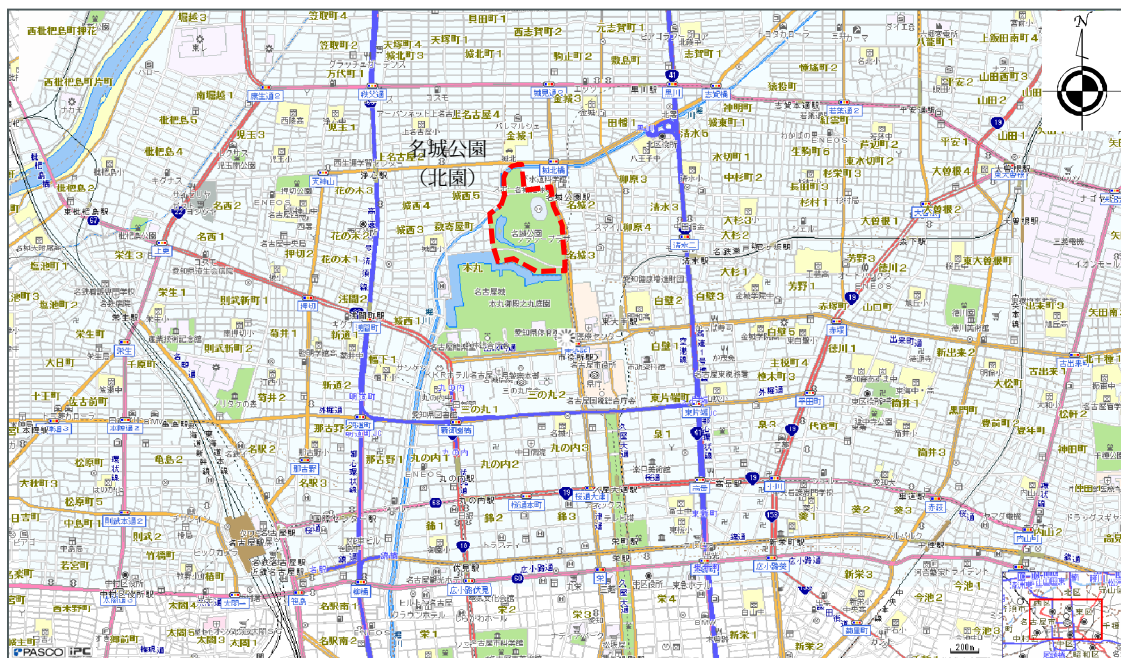
(1) 自然状況

【植生】

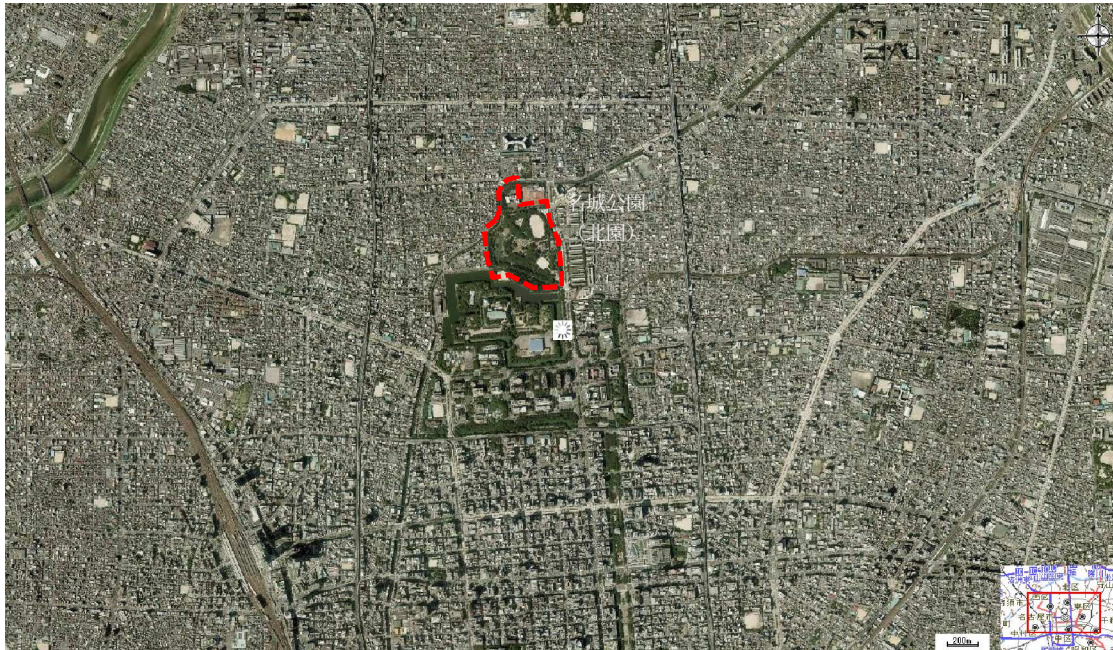
昭和 30 年代より植栽が実施され、現在ではかなりの樹高を有する成木に成長し、繁茂している。北部は、クスノキ、カシ、ツバキ等の常緑樹を主体に落葉樹を加えた混合林となっている。南部は、アベマキ、ケヤキ、イチョウ、ナンキンハゼ、トウカエデ等の落葉樹を主体に常緑樹を加えた混合林となっている。中でも全域に植栽されたサクラ、おふけ池周辺のツツジ、しょうぶ園のハナショウブ、カキツバタが特徴的である。

(2) 周辺状況

北園の東・北・西側の多くの地帯は一般住宅地区を形成しているが、北園に隣接した大津通東脇には、愛知学院大学名城公園キャンパスと中高層住宅が立地している。北園の北側に隣接して、名城水処理センターが設けられており、その上部はテニスコートとして整備されている。北園の南側は、有料地区である名古屋城エリアを挟み、名古屋市役所、愛知県庁等が立地する業務地区となり、名古屋市、愛知県あるいは中部圏の行政の中核地域を形成している。



周辺状況図



航空写真

【名城庭球場】

名城庭球場は、アンツーカーコート 15 面を備える庭球場で、名城公園北部に位置し、名城水処理センターの地上部分及び名城公園の一部を利用している。(15 面中、東側 9 面は名城水処理センター、西側 6 面は名城公園)

3 月から 11 月は午後 9 時までナイター利用が可能な施設である。

所在地：北区名城一丁目 3 番 3 号

管理棟：面積 258.75 m²

管理事務所、更衣室・シャワー室、トイレ

庭球場：敷地面積 17,662 m²

コート アンツーカー舗装／15 面

観覧席 700 名収容（センターコート 1 面のみ）

夜間照明 500 ルクス



【名城水処理センター】

名城水処理センターは、昭和 38 年 12 月から高級処理施設の建設に着手し、昭和 40 年 4 月に施設が完成（6 万 m^3 ／日）した。その後、市街地の発展により流入汚水量が増大してきたため、昭和 46 年 1 月から処理施設の拡張工事に着手し、昭和 48 年 4 月に完成（10 万 m^3 ／日）した。

この水処理センターは、名城公園に隣接しているため、処理施設上部をすべて覆蓋し、その上部には周囲の景観と調和がとれるように樹木とテニスコートが設けられている。また、昭和 63 年 9 月には、水処理センター前に潤いや安らぎの場として高度処理水を利用した噴水などの“アーバンオアシス”が完成し、平成元年 7 月には、管理棟 1 階に下水道のしくみを楽しく紹介する“下水道科学館”が開設された。



名城水処理センター

所在地：北区名城一丁目 3-3
処理区域：千種、東、北、中区の一部
処理方式：標準活性汚泥法
処理能力：10 万 m^3 ／日
排除方式：合流式
放流河川：堀川
運転開始：昭和 40 年

【愛知県スポーツ会館】

屋内体育館として、柔道、卓球、剣道、バトミントン、バレーボール等の屋内競技に使用され、愛知県が管理・運営主体となっている。室内競技以外にも施設内の会議室を利用して文化教室が定期的に行われている。

1-4.整備時の方針および内容

(1) 整備当初の基本方針

昭和 61 年 名城公園（北園）基本計画（名古屋市農政緑地局）》

開園後、長期間にわたり市民に利用されてきた名城公園の北園区域について、公園機能・形態等を再検討し、新しい視点に立った市民のニーズや、新しい公園機能を考慮することにより改修計画が策定された。その際の基本方針は以下のとおりである。

基本方針

名城公園のアイデンティティである城、花に沿った特色ある公園とする。

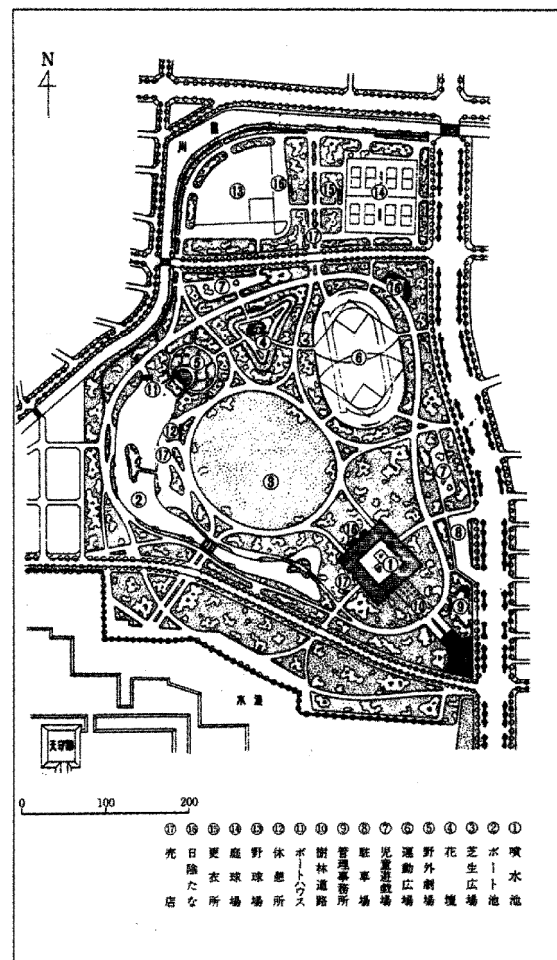
- 魅力ある施設の導入を行い、公園の活性化を図る。
- 質の高い、明るいイメージの公園とする。
- 名古屋市の「中央公園」にふさわしい機能を有する公園として整備を図る。
- 不足している休養施設、教養施設、遊戯施設、便益施設の新たな導入を行う。
- 都市景観の向上をめざした施設の導入を図る。

1-5.施設状況

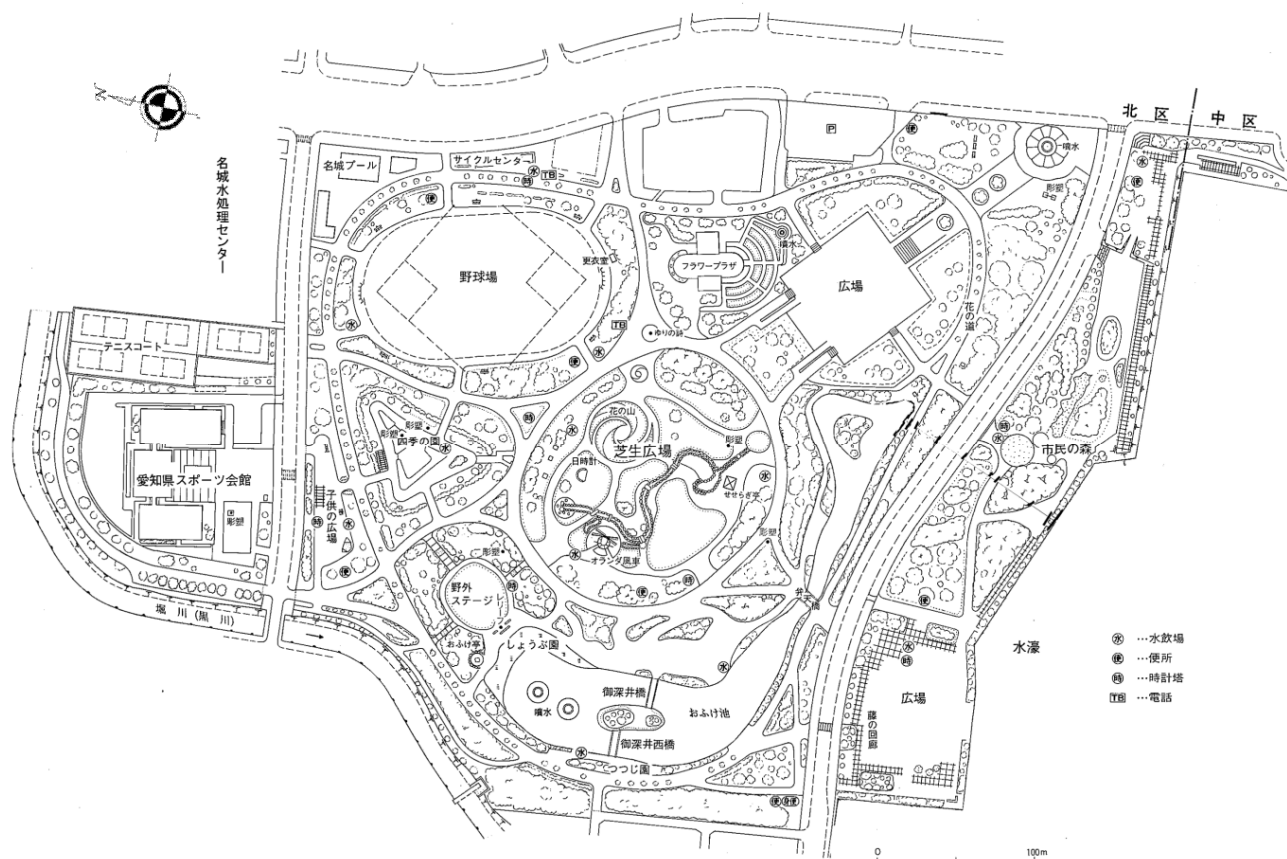
(1) 施設概要

名古屋城天守閣の眼下に広がる名城公園は、終戦後いち早く市の中心部における総合公園として計画決定され、その整備が行われてきた。

「せせらぎ」の流れる芝生広場を中心に、おふけ池、野外ステージ、花木園、子どもの広場、花の道（サイクリングコース・散歩道）、野球場、藤の回廊等の施設が整備されている。また昭和 63 年秋には、この公園を主会場に、第 6 回全国都市緑化なごやフェア（緑花祭なごや'88）が開催され、これを記念する施設として花と緑の相談所を主とする「名城公園フラワープラザ」が建設された。



名城公園計画平面図（昭和31年）



名城公園平面図

■芝生広場

中央部に位置する面積約 2ha の芝生を主体とした広場で、様々な野外レクリエーションに利用されており、中心的施設となっている。芝生広場中央には、工業用水を利用したせせらぎが整備されている。

■せせらぎ

名古屋城北西の水濠の水位を年間通じて確保し、水質の浄化を図るため、工業用水を導入するにあたり、芝生広場付近でせせらぎとして利用したのち、おふけ池に貯留することとなった。せせらぎは芝生広場で緩やかな起伏の間をぬって蛇行する延長 147m の流れで、都会の中で失われた水辺に親しむことのできる人気の高いポイントである。昭和 56 年 5 月に完成、幅 1.5～1.8m、水量約 1t / 分、水深 3～10cm。

■四季の園

周辺を樹林に囲まれたまとまりのある空間となっている。

■おふけ池

北園南西部に L 字形に設けられた人工池で、中島へは連絡橋（御深井橋）が架けられている。芝生広場と南部の地区を結ぶ連絡橋（弁天橋）も架けられている。

- ・ 御深井橋：昭和 36 年 1 月建設、鋼橋、L=19.5m、W=3.3m
- ・ 御深井西橋：
- ・ 弁天橋：昭和 35 年 3 月建設、鉄筋コンクリート橋、L=9.7m、W=7.6m
- ・ しょうぶ園：ハナショウブ・カキツバタ 2,400 株
- ・ おふけ亭：池の北側に名古屋城天守閣の眺望がもっともよく得られる地点に設置されている。（昭和 51 年 5 月設置、鉄骨造、天然スレート葺）

■子供の広場

鉄棒やブランコ、グローブジャングルのほか、複合遊具、健康器具系施設、木製遊具等、多様な遊具が整備されており、周辺を樹木で囲まれた空間となっている。

■野外ステージ 昭和 50 年 3 月建設

名古屋城の天守閣をのぞむ形で南傾斜の芝生散策路とコンクリート製のステージが設けられている。

ステージ：約 50 m²

芝生観客席：約 1,000 m²

灯光器：2 灯（コンセント用電源）

レリーフ：「舞」名城ライオンズクラブより寄贈（昭和 57 年 3 月設置）

■南地区

藤棚が並ぶ「藤の回廊」と「市民の森」で構成される。藤棚に囲まれた広場部分は、ゲートボール等多目的に利用されている。

市民の森は、自然解説版や野外学習のための施設が設けられ、外堀に近い部分には藤棚が整備されている。「体験の森」のエリアには遊具が設置され、木陰で遊べる空間となっている。

- ・ 藤棚：昭和 60 年 3 月設置、擬木柱、コルテン鋼、プラスチック竹

■名城公園フラワープラザ

名城公園フラワープラザは、「第 6 回全国都市緑化なごやフェア」（愛称 「緑・花・祭なごや' 88」）の記念施設として、また、都市の生活の中にとりいれる花の知識・技術等をひろめる普及啓発施設として、昭和 63 年 9 月 30 日の同フェア開催と同時に開館した。

敷地内のモデルガーデンや室内花壇には、草花・ハーブ等が植栽されている。館内は、花を中心にした展示・講習会が開催され、花と緑の相談コーナーなどの花の普及啓発施設、喫茶コーナーなどの便益施設として利用されている。

敷地面積：6,360 m²

建築面積： 932 m²

構造：鉄筋コンクリート造平屋建

施設：サニールーム、アトリウム、事務室、花工房、
花と緑の相談コーナー、カフェ、身障者用便所、
モデルガーデン、水景施設



名城公園フラワープラザ

【事業内容】

- ①花と緑の講習会などの開催
- ②花に関する各種展示会の開催（アトリウム、窓際の屋内ディスプレイ）
- ③花と緑の相談
- ④花に関する情報（図書の閲覧）

■花の名所

サクラ、ツツジ、ツバキ、フジ、アジサイ、ウメ、チューリップ、カキツバタ、ハナショウブが、花の名所として認知され楽しまれている。

【花の名所】（北園を含む名城公園全体）

- | | |
|-------|----------------|
| ・ ウメ | 開花時期 2月上旬～3月中旬 |
| ・ ツバキ | 開花時期 3月上旬～3月下旬 |
| ・ サクラ | 開花時期 3月下旬～4月上旬 |
| ・ ツツジ | 開花時期 4月下旬～5月上旬 |
| ・ フジ | 開花時期 4月下旬～5月上旬 |

- ・ アジサイ 開花時期 6月上旬～6月下旬
- ・ チューリップ 開花時期 4月上旬～4月中旬
- ・ カキツバタ 開花時期 5月上旬～5月中旬
- ・ ハナショウブ 開花時期 6月上旬～6月中旬

- ・ 昭和 61 年「藤の回廊」



■運動施設

【ジョギングコース・サイクリングコース】

花の道：サイクリングコース 幅員 3.0m 延長 1,300m

散歩道 幅員 3.5m 延長 1,300m

距離標識が設置されており、ランニング（ジョギング）コースとしての利用も多い。

【名城プール】

施設面積 2,693 m²

更衣室、プール（221.11 m²）

※教育委員会により管理・運営されている。

【名城自転車天国】

施設面積 180 m²

構造 ブロック造

※花の道のサイクリングコース利用の自転車を貸し出しするための施設で、（公財）JKAによって管理・運営されている。



(2) 利用時間および料金

【名城公園フラワープラザ】

開園時間：午前 9 時から午後 4 時 30 分

休館日：毎週月曜日（休日にあたるときは直後の休日でない日）

毎月第 3 水曜日（休日にあたるときは第 4 水曜日）

年末年始（12/29～1/3）

花と緑の相談：午前 10 時から午後 4 時（途中 1 時間休み）

【有料公園施設】

野球場：2 面 13,800 m²

利用期間	利用時間		使用料
	利用区分	時間帯	
通年	昼間	8:30～16:30	3,000 円
	半日	8:30～12:00 または 13:00～16:30	1,900 円
	早朝 薄暮	日の出相当時刻～8:00 17:00～日の入相当時刻	1,100 円
ナイター利用期間 (4/1～10/31)	夜間	17:00～20:30	2,200 円

※照明のための電気料金は別途必要

【駐車場】

駐車場名	面積	収容台数	供用期間	供用時間	料金
北園 駐車場	約 2,300 m ²	普通 73 台 身障者 2 台	1/4～12/28	4 月から 10 月 8:00～21:00 11 月から 3 月 8:00～18:00	普通車 180 円/30 分 自二・原付 100 円/30 分 大型車 最初の 1 時間 600 円 以降 600 円/30 分

(3) 景観

【園内の優れた景観】

- ・ 春のサクラ。
- ・ オランダ風車の景色。春に咲くチューリップ。
- ・ 名城公園フラワープラザ周辺のモデルガーデン。
- ・ 花の山の上からの眺め。

【公園内から見える周辺の景観】

- ・ 名古屋城

【景観を向上させている施設】

◇ 彫刻

作品名	作家名	設置年	設置場所
ささやき	石川裕	S56. 3	四季の園
晴天	石田武至	S55. 3	四季の園
舞	石田武至	S57. 3	野外ステージ
浮遊	石黒鏑二	S58. 3	メインエントランス
碑のトルソー	増田正和	S58. 3	メインエントランス
娘の像	佐藤忠良	S58. 3	芝生広場南
青春像	北村西望	S43. 10	芝生広場
道標・鳩	柳原義達	S60. 2	四季の園
ダンスのステップ	セルジオ・カペリーニ	S63. 9	フラワープラザ
青年像	野々村一男	S33. 10	野外ステージ東 (H4 駅前より移設)

◇ 水景施設

種類	愛称	面積 (㎡)	設置年	備考
流れ	せせらぎ	400	S56. 3	芝生広場
噴水	花の噴水	153	S63. 9	メインエントランス
噴水			S63. 9	おふけ池
流れ		233	S63. 9	フラワープラザ

◇ その他修景施設

- ・ おふけ池
- ・ 芝生広場
- ・ オランダ風車

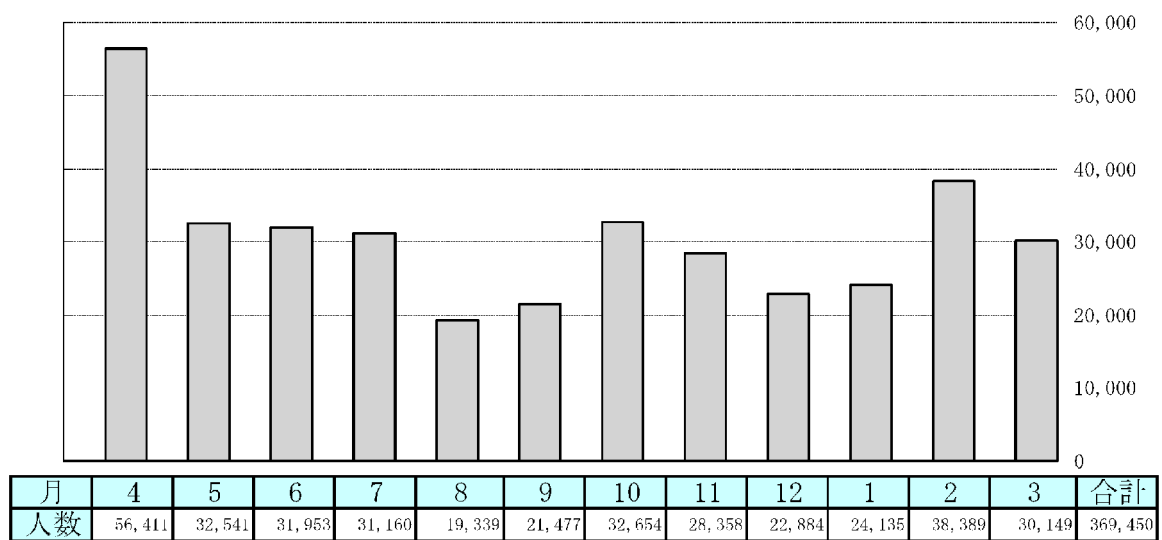
1-6.利用状況

(1) 利用実績

【最近の名城公園フラワープラザ入館者数】

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
人数	345,882	353,601	349,371	324,206	362,979	369,450

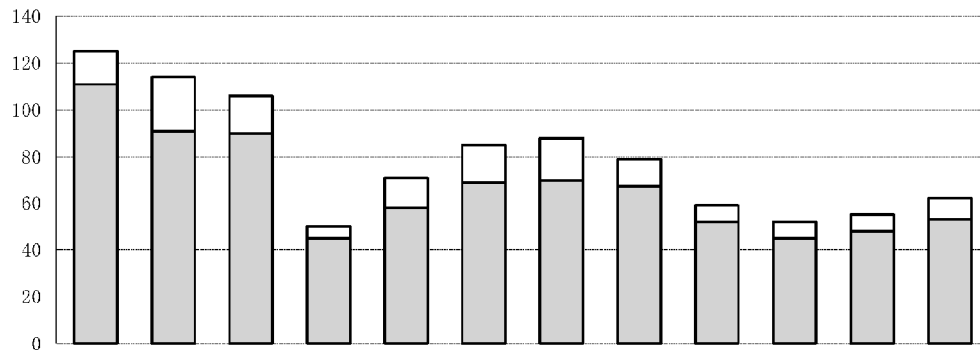
【名城公園フラワープラザ】（平成 25 年度入館者数）



【緑の教室・展示会等】

緑の教室等	107 回	2,275 人	展示会等	47 回	延 146 日
			イベント	20 回	31 日

【花と緑の相談者数】（平成 25 年度）



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談者数													
□ 電話等（人）	14	23	16	5	13	16	18	12	7	7	7	9	147
■ 面談（人）	111	91	90	45	58	69	70	67	52	45	48	53	799
計	125	114	106	50	71	85	88	79	59	52	55	62	946
相談件数（件）	162	156	129	55	90	102	103	100	63	56	58	65	1,139

（2）主な行事（フラワープラザ）

開催実績（H26 年度）

イベント名	開催時期	期間入園者
名城公園チューリップまつり	4月12日（土）～13日（日）	
春の園芸まつり	4月26日（土）～29日（火・祝）	
名古屋朝顔まつり	7月23日（水）～27日（日）	
秋の園芸まつり	10月11日（土）～13日（月・祝）	
梅まつり	2月5日（木）～8日（日）	

【にぎわい】

- ・ 4月のチューリップまつり、7月の名古屋朝顔まつり、2月の梅まつりなど花を活かしたイベントが行われている。
- ・ 南東部にある広場では、地域のイベントが多数行われている。（マラソン、運動会等）
- ・ 花の山で、花植えのイベントを開催している。（120名の参加がある。）

【その他】

- ・ 野鳥、花などの写真撮影で利用される。コスプレイベントでの撮影もある。
- ・ 公園の駐車場は、名城公園フラワープラザのイベント、野球大会、愛知県体育館でのサーカスや相撲の開催日などに利用が増える。
- ・ 隣接する大学では、講義やゼミの活動などで公園を利用することがある。

- ・愛知県スポーツ会館で行われる講座で公園を利用している。(ランニング、絵画教室)

(3) 利用者の意見

平成 26 年 1 月、名城公園周辺施設に対してヒアリングを行った。

【意見・要望等】

- ・ランニングコースの利用が非常に多い。
- ・公園内のイベントは、名城公園フラワープラザの屋内が中心であるため、屋外もにぎやかになるような催しや、子供も楽しめるイベントの要望が出ている。
- ・シャワー室のクレーム（老朽化に伴う誤作動等）が多い。
- ・トイレを改善して清潔なイメージにしてほしい。
- ・夜間の照明が暗いため、明るくして安全に利用できるようにしてほしい。
- ・グラウンドに水たまりがしやすい。補給用の砂が置いてあるとよい。
- ・ランナーが隣接する施設のトイレなどを更衣室として使用している。

公園に関する意見・要望を平成 26 年 11 月 8 日（土）に現地にて聞き取り調査を行った。当日は、フラワープラザで展示会が行われていたが、その他園内ではイベントが行われておらず、通常の休日の状況での調査となった。アンケートは、学生から 70 代以上まで幅広い年齢層の 59 名を対象とし、対象者の 6 割は週 1 回以上、名城公園を利用している。（毎日利用しているのは 25%）一方で、初めて来園したと回答した人も 1 割以上いた。

【名城公園の良いイメージ】

- ・広くてのびのび遊べる。
- ・都会に自然があり、四季が感じられる。樹木が大きくてきれい。鳥も多い。
- ・コースに距離票があり、マナーも良くて走りやすい。ゆっくり散歩ができる。
- ・静かで雰囲気が良い。
- ・景観がよく、手軽に非日常の空間に行ける。
- ・様々な施設がある。噴水などの水景施設もよい。水飲み場が多い。

【名城公園のマイナスイメージ】

- ・木が多いため、夜間の視界が悪い。
- ・急な雨でも雨宿りする場所がない。
- ・休日などゴミが多い。不審な荷物などがあり怖い。
- ・エリアによって清掃状況に差がある。シャワー室が汚い。
- ・猫が増え続けているのが心配。カラスも多い。

- ・ 雑然と広く、テーマが感じられない。風車が置かれた意味も伝わらない。

【要望】

- ・ 地図等の案内板がもっとあるとよい。
- ・ オムツ交換ができる場所がほしい。
- ・ 遊具と水場を近くしてほしい。
- ・ 花や果物、野菜などの市場のようなイベントがあるとよい。
- ・ 景観の良い場所にベンチなどがほしい。
- ・ ドッグラン、自販機などがあるとよい。

平成 22 年に行われたネット・モニターアンケートによると、名城公園は「(市内で) 好きな公園」第 2 位となっており、名城公園が好きな理由として以下が挙げられている。

【名城公園が好きな理由】

- ・ 名古屋城が見え、公園の広々とした空間があっている。
- ・ 広くて、いろいろな景色が楽しめる。
- ・ 季節の花が楽しめる。四季を感じることができる。(桜、藤などが素晴らしい)
- ・ 自然が豊かで心が落ち着く。
- ・ 花見もできるし、スポーツもでき、それぞれの楽しみ方ができる。
- ・ 整備が行き届いている。
- ・ 駅から近い。車も止めやすく、ふらっと立ち寄れる。
- ・ 公園の周囲どこからでも公園に出入でき、死角になる場所も少なく安全。
- ・ 遊具があり、のんびりできるので、子供と行って楽しめる。
- ・ 変わった貸出し自転車があっても面白い。
- ・ ウォーキングやジョギングができる。

(4) 利用・運営上の課題

- ・ ランナーとサイクリングとの混在および出入口での交差が危険である。
- ・ 特に桜の時に、火気の使用、ゴミが多い。
- ・ ランナーの走行方向に対する苦情がある。
- ・ 駐車場料金が低い（上限がない）という苦情を受ける。
- ・ 自転車の貸し出しは、時間帯により集中する。

(5) 協働

■ 公園愛護会

平成 27 年 2 月に、名城公園特定愛護会、名城公園第 3 公園愛護会にアンケート調査を行った。

【活動状況】

- ・ 月に 1 回の清掃活動
- ・ 早朝ラジオ体操を雨天以外の毎日実施（冬期 40 名、春～秋は 80 名程参加）
- ・ グラウンドゴルフを週 3 回午前中に実施（33 名参加）

【公園愛護会の意見】

1) 名城公園の魅力について

- ・ まちの騒音から遮断された静かな空間
- ・ 緑に囲まれた広大な土地
- ・ サクラの時季は花見客でにぎわい、秋の紅葉も素晴らしい。
- ・ 草花もいろいろ植え替えられて、楽しめる。

2) 望まれる公園像について

- ・ 行けば誰か話し相手がいる公園
- ・ 子どもだけでも安心して遊べる公園
- ・ 雨をしのぐ場所があるとよい。
- ・ 公園内に 2、3 軒の休憩できる場所（軽食、飲み物）があるとよい。

■ その他の団体との協働

- ・ 花の山で、花植えイベントを開催している。（名古屋市、指定管理者、ユニーグループ・ホールディングス）
- ・ 愛知学院大学は、名古屋市とクリーンパートナー制度を結び、公園沿いの道路のゴミ拾いをしている。（1 回／月）
- ・ 愛知学院大学は、花壇のスポンサーになっている。

1-7.公園の基本的な性格・役割

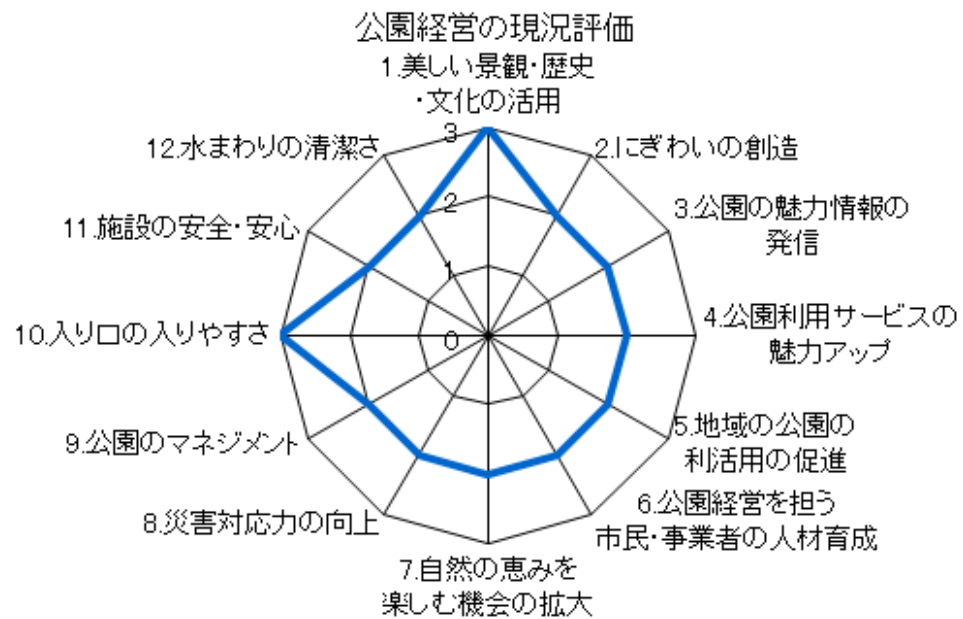
(1) 特長の分析

分析ポイント

歴史・文化	名古屋城を中心としたエリアに位置している。 大学のキャンパスが隣接している。
景観	名古屋城の天守閣や城壁が見られる。 広場があり楽しめる。
にぎわい	花見（サクラ）や地域のイベント、名城公園フラワープラザでのイベントなどで利用されにぎわいがある。
地域の庭	チューリップやウメ等が親しまれている。
自然の恵み	成長した樹木が多くある。
遊具	遊具のある児童園がある。
スポーツ施設	野球場、サイクリング・ジョギングコースがある。
災害対応力	広域避難場所に指定されている。
活動団体	愛護会などボランティア活動が継続して行われている。
民間活力導入状況	自販機の設置、名城公園フラワープラザ内に物販・飲食あり。

(2) 公園経営の視点から見た現況評価

公園経営の現況評価	
評価基準	
評価0	—
評価1	部分的に不足している
評価2	標準的なレベルに達している
評価3	積極的に取り組んでいる、高い評価を得ている



- ・ 名城公園フラワープラザ周辺が指定管理区域となっている。
- ・ 季節ごとの美しい花々と名古屋城を望むロケーション等、景観面でも人気がある。
- ・ 地域のイベントの場となっている。
- ・ ジョギングやサイクリング、ウォーキングなど、スポーツ施設としての利用も非常に多い。
- ・ 公園経営を担う人材育成の取り組みがなされている。

2. めざすべき姿と取り組みの方針

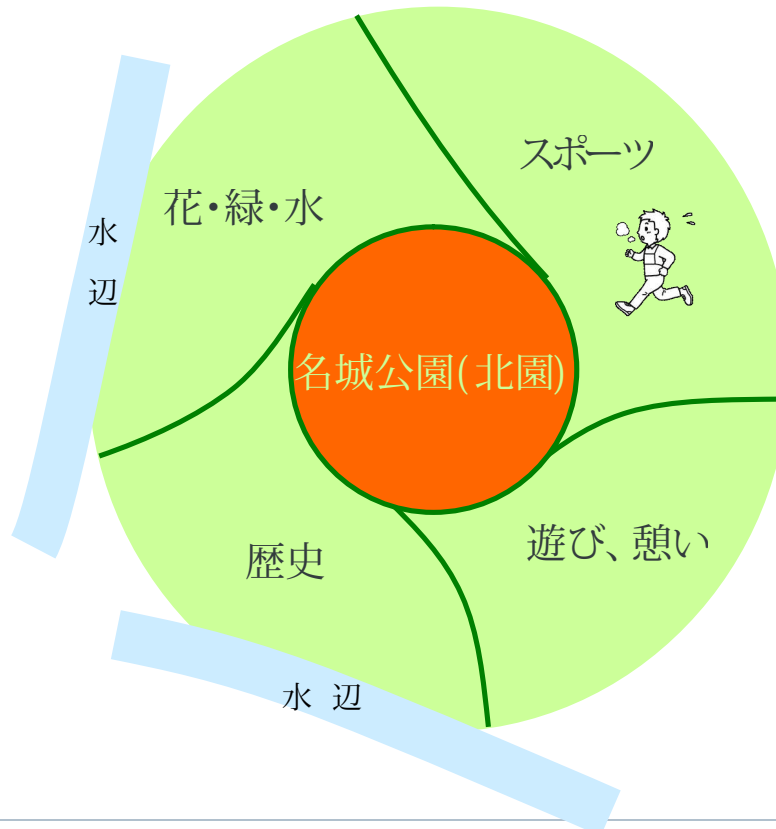
2-1. 公園がめざすべき姿

(1) めざす公園像

地域の安全・安心と安らぎをはぐむ
名古屋の中心公園

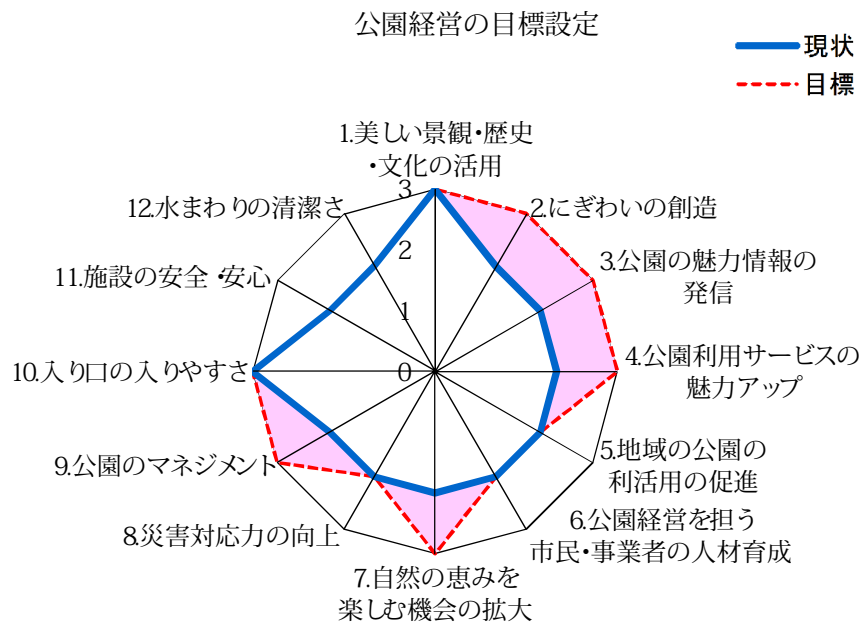
- ・市の中心部に位置しながら、四季折々の花や豊かな緑に包まれた公園。
- ・名古屋城という名古屋の歴史的拠点を支える品格のある景観。
- ・人々の遊び、憩い、スポーツなど様々な利用形態を受容する公園。
- ・災害から周辺住民の命を守る、安全・安心な公園。

(2) 名城公園（北園）のイメージ



2-2. 取り組みの方針

(1) 公園経営の目標設定



めざす公園像に取り組むための方針に沿って公園経営の目標を設定し、今後 10 年間に重点的に取り組む項目は、下表のとおりである。

めざす公園像のための取り組み項目	景観形成		運営管理				連携協働			維持管理		
	1	10	2	3	7	9	4	5	6	8	11	12
めざす公園像のための取り組み方針												
都心に位置しながら、四季折々の花や豊かな緑に包まれた公園				○	○							
名古屋城という名古屋の歴史的拠点を支える品格のある景観												
人々の遊び、集い、憩いなど様々な利用形態を受容する公園			○			○	○					

また、指定管理者制度のメリットを活かして、公園経営的視点に立った公園の管理を行うとともに、利用者や近隣住民の声を大切にしながら、安全・安心や環境への取組み等にも考慮して、効果的・効率的な管理運営を行う。

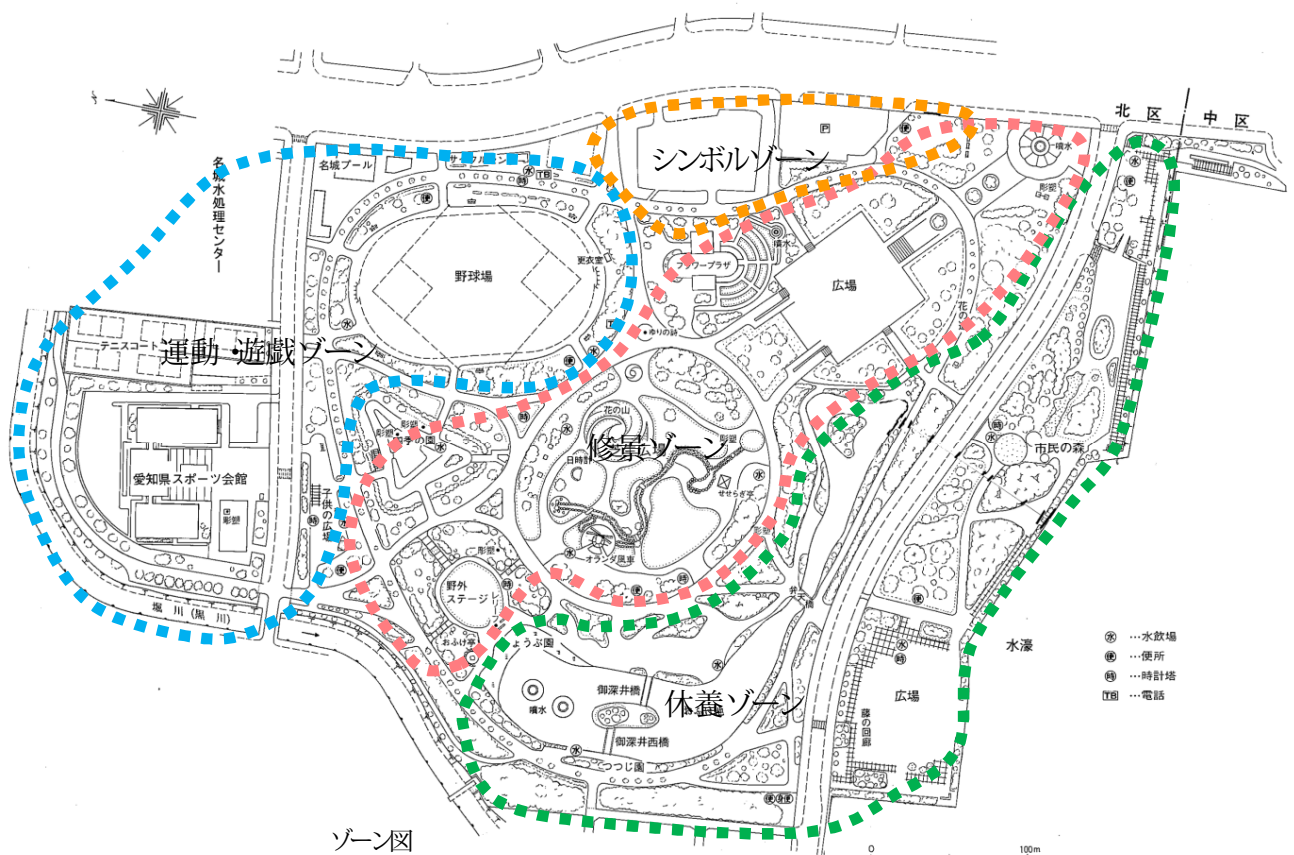
自然と親しむ場、自然とのふれあい活動に参加する場、花を多く取り入れた散策休養の場、およびレクリエーションを楽しむ場など、多様な市民ニーズに応える施設として管理運営を行う。

● 指定管理者との関係

指定管理者が管理している施設については、以下のことを踏まえつつ、指定管理者の創意工夫による管理を行う。

(2) ゾーン別特性

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーンごとの方針を定め、各ゾーンの特長を際立たせて効果的な予算の執行等を図るうえでの基本的な方針とする。



【休養ゾーン】

おふけ池や市民の森など樹木に囲まれた静かな空間と、芝生広場およびせせらぎのある広々とした空間を活用し、落ち着いた憩いのゾーンとなっている。景観上も人気の高いエリアで、花や彫刻なども含めた質の高い空間として維持するエリアとする。

【シンボルゾーン】

幹線道路に沿った園地であるため、公園利用者のみならず、沿道利用者の利便を考慮した修景空間として設定された空間で、公園への重要なアプローチとしても位置付けられる。名城公園の顔となるようなシンボリックなエリアとする。

【運動・遊戯ゾーン】

野球場、名城プール等のスポーツ施設を活用した市民のためのスポーツ空間であり、地域の子供の遊戯ゾーンも備えている。誰もが気軽に利用できる運動・遊戯エリアとして、安全でオープンなエリアとする。

【修景ゾーン】

フラワープラザやオランダ風車を中心としたエリアで、名城公園の魅力づけの一つとなっている。地域のイベント等に活用し、にぎわいの拠点となるエリアとする。

(3) 維持管理の方針

公園管理者に代わって北園エリアを一元的に管理運営できる体制をつくっていくことが必要である。

園地や植物の管理については、当初の植栽意図を踏まえ、各植物の特性に配慮したうえで、適正に持続・育成するよう必要な管理を行う。特に四季のイベントとして人気の高いサクラやフジ、チューリップなどについては、毎年楽しんでいただけるような栽培管理に努める。

施設や設備は、利用者が快適かつ安全に利用できるよう、各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、常に清潔に保ち、機能を正常に保持するため、各施設に応じた年間管理計画を立て、点検・管理を行う。

周辺地域との連携、市民・企業等とのパートナーシップを推進し、参加型で効率的な維持管理をめざす。

(4) 景観形成の方針

市民からの評価の高い芝生広場やサクラ、花壇の植栽などの景観を大切にし、既存の資源を活かした景観形成をめざす。

(5) 運営管理の方針

施設管理者は、利用者の満足度を高め、多様なニーズに応えるため、利用者の声を聴取し、反映できるものは積極的に取り入れる。また、名城公園の自然環境を保護し、園内花壇等を保全するため、周辺地域との連携、市民・企業等とのパートナーシップを推進し、参加型の運営管理を推進する。

公園内の施設間の連絡を密にし、協力して運営する。

【広報】

新たな広報ツールの開発、パブリシティの活用、周辺の施設や学校等との連携を進め、積極的に最新情報を発信する。

(6) 連携・協働の方針

市民団体や企業との連携を高める管理運営を行う。現在、名城公園で活動しているボランティア団体のほか、NPO、市民等との協働事業を実施する。

ボランティア活動の継続・充実を図り、公園をボランティアメンバーや市民のコミュニティの場（地域のオアシス）として活用する。

(7) 改修・再整備の方針

公園の安全・魅力向上のために必要な場合は、改修を行う。

(8) 災害対応の方針

「名古屋市地域防災計画」「震災に強いまちづくり方針～名古屋市防災都市づくり計画～」に基づき、広域避難場所としての機能を確保する。

火災、地震、風水害等の防災・災害対応マニュアルをあらかじめ作成し、発災時には、利用者の安全確保に努める。